

# 世界のコインを楽しむ

## 中型銀貨（4）ドイツ1

第99回

平石 国雄

ドイツではヴァイマール（ワイメアール）共和政期の一九二四一二五年に三マルク中型銀貨写真①、一九二四年A）が作られている。銀品位五〇〇で一五・〇〇gあり、直径三〇mmである。表面に翼を大きく広げたドイツを象徴する鷲を描き、裏面中央には額面がドイツ語で大きく描かれている。ミントは、ベルリン（ミントマーク、A）、ミュンヘン（D）、ムルデンフツデン（E）、シュトットガルト（F）、カールスルーエ（G）、ハンブルク（J）の六種である。

そして第三帝國下では、一九三三年にマルチン・ルターを描いた五ライヒス・マルク記念銀貨を筆頭に、一九三五年までに同様の記念銀貨が三種類作られる。一九三四年に、ナチス政権一周年記念貨と同様の五ライヒス・マルク通常貨（写真②）、一九三四年A）が作られる。銀品位九〇〇で一三・八八gあり、直径二九mmである。表面のドイツの鷲は同様であるが、裏面にはポツダムにあるガリソン教会が描かれており、一九三五年まで上記の六ミントで作られている。

一九三五年の途中からは、裏面がヒンデンブルク大統領頭像を描いた五ライヒス・マルク貨（写真③、一九三六年D）に変わる。さらに一九三七年には、表面のドイツの鷲がナチス政権のものに変わった五ライヒス・マルク貨（写真④、一九三九年D）が作られる。このコインは一九三九年までに記載している六ミントで作られ、さらに一九三九年のみウイーン（B）ミントが加わっている。

ヒンデンブルク大統領頭像タイプのミントマークは、裏面右下に記されている。すでにミュンヘン・ミントのコインは写真掲載しているので、他の五ミントの部分拡大写真、ベルリン（写真⑤、一九三六年A）、ムルデンフツデン（写真⑥、一九三五年E）、シュトットガルト（写真⑦、一九三六年F）、カールスルーエ（写真⑧、一九三五年G）、ハンブルク（写真⑨、一九三七年J）を掲載する。なおウイーン・ミントは入手できなかつたので、一九三八年も作つていて二ライヒス・マルクの写真（写真⑩、一九三八年B）を掲載する。取り上げた第三帝國下の五ライヒス・マルク貨には、同じデザインの二ライヒス・マルク貨（直径二十五mm）が作られており、こちらの方は入手が容易である。



写真④ 5 ライヒス・マルク銀貨 1939年D



写真① 3 マルク銀貨 1924年A



写真② 5 ライヒス・マルク銀貨 1934年A



写真⑧ 1935年G  
(カールスルーエ)



写真⑤ 1936年A  
(ベルリン)



写真⑨ 1937年J  
(ハンブルク)



写真⑥ 1935年E  
(ムルデンフツデン)



写真⑩ 1938年B  
(ウィーン)



写真③ 5 ライヒス・マルク銀貨 1936年D

